

酪農新技術発表会を開催！

畜産試験場では、昨今の飼料費や燃料価格等の高騰により畜産経営が厳しい状況にある中、牛の生産性を向上させ、飼料コストを低減できる技術開発の研究を行っています。

今回、安定した畜産経営を目指すために、これまで開発した酪農部門の新技術発表会を奥越高原牧場で開催しました。

今回の発表会は、県内酪農家の若手後継者たちで組織されている「福井県ホルスタイン改良同志会」と共催で初めて開催したものです。当日、奥越高原牧場では30 cmを越える積雪がありましたが、遠く若狭町を含む県内各地域でがんばっている酪農家後継者8名が参加してくれました。

和田主任研究員から、「夏場の乳量低下防止技術」、「乳牛への飼料用米多給技術」等の新技術をはじめ、西村主事から、すでに開発されている「分娩前乳汁活用の乳房炎対策技術」の農家実証報告を行いました。

参加した酪農家の方々からは、研究に対する意見や具体的な活用方法などの質問に加え、畜産試験場に対する新たな研究内容の要望等の意見もいただきました。

畜産試験場では、これからも畜産農家の経営安定に役立つ試験研究を行い、いち早くその技術を農家の方々に提供できるよう努力していききたいと思います。



和田主任研究員からの新技術発表



熱心に説明を聞く酪農家の皆さん